

## 自分らしい買いのタイミングを構築するために

筆者は、ファイナンシャル・プランナーとして、また個人投資家として、株式勉強会などを通し、これまでに数多くの方の資産運用の相談にのってきました。とくに株式の相談でよく聞かれるのが「いつ買えばよいのか？」という視点です。

投資顧問業を行っていない筆者のような立場では、そうした質問に対して具体的にいつ買いなさいと指示はできません。もちろん、何を買ったらいいかも指示できません。また、誰かにすべてを頼るようでは、ご自身またはご家族の資産を守ることもできないと考えます。そのため、こうした質問には常に「ご自身がよいと思う株式とタイミングを勉強して、そこで買えばよいのでは？」と答えています。

「えいや、と買ったはよいものの、買ったらすぐに値下がりし、損をするのではないか？」こうした不安は、多くの方がお持ちだと思います。このような不安を少しでも解消することが常日頃の課題でしたが、本書により、多くの方にとって買うタイミングを知るきっかけとなり、自信を持って買えるようになっていただけるとは思いませんかと自負しております。個別具体的な話ができないもどかしさゆえに、書籍として出版することで、私の考え方や、買いのポイントをお伝えできることに大変ありがたく思っております。

買いのポイントを探る方法はいくらでもあります。あくまでその一部にはなるものの、本書をもとに、実際に売買を行い、それぞれご自身のやり方を構築していただければ幸いです。

最後に、東洋大学の授業「ファイナンス特講」の教え子で、ファイナンシャル・プランナーの西岡祥樹君には、チャートの選定などで協力をいただきました。感謝いたします。

2022年3月 伊藤亮太

# Contents

## 目次

はじめに..... 3

### CHAPTER 1. 買いのタイミングの基本

## 買いのタイミングを見極めるための手法

01	なかなか購入できない理由は「欲張るから」.....	12
02	買う理由が説明できればそれが「買うタイミング」.....	16
03	「値上がりし始めたら買う」が買い方の王道.....	18
04	株を買った翌日に値下がりしても問題ない.....	20
05	ベテラン投資家にとっては株価下落は買いサイン.....	22
06	買いのタイミングを分析する3つの手法.....	24
07	チャート分析で買いのタイミングを決める.....	26
08	テクニカル分析で買いのタイミングを決める.....	28
09	ファンダメンタルズ分析で買いのタイミングを決める.....	30
Column 1	日常生活にも「買いどきのサイン」は潜んでいる.....	32

### CHAPTER 2. トレンドとチャートパターン

## チャート分析でつかむ 買いのタイミング

01	チャートの基本 ローソク足で相場を読む.....	34
02	トレンドをつかむのが買いの王道.....	36
03	トレンド分析でわかる買いのポイント①.....	38
04	トレンド分析でわかる買いのポイント②.....	40
05	トレンド分析でわかる買いのポイント③.....	42
06	トレンド分析でわかる買ってはいけないポイント.....	44
07	相場が動くローソク足が現れたら買い.....	46
08	複数の時間軸を見て買いのタイミングを知る.....	48
09	窓が開いたら買いのサイン.....	50
10	形から値動きを予測するチャートパターン.....	52
11	3つの谷が見えたらヘッドアンドショルダー.....	54
12	Wの文字が見えたらダブルボトム.....	56
13	細かいギザギザが見えたら三角保ち合い.....	58
14	二度目の反発が買いの合図 フォロースルー.....	60
15	陽線の連続が合図 赤三兵.....	62
16	チャートパターン通りに動かないときの対処法.....	64
Column 2	チャートパターンがいびつで買いを判断しづらいときの対処法.....	66

## CHAPTER 3. 移動平均線と出来高

テクニカル分析でつかむ  
買いのタイミング

01	テクニカル分析の王道 移動平均線を知る	68
02	短期線と長期線の違いを知る	70
03	レンジ相場での売買で使う移動平均線	72
04	グランビルの法則でわかる買いのポイント① 底値で買う	74
05	グランビルの法則でわかる買いのポイント② 押し目買い	76
06	グランビルの法則でわかる買いのポイント③ 反発	80
07	グランビルの法則でわかる買いのポイント④ 乖離率	82
08	3本の移動平均線でわかるパーフェクトオーダー	84
09	移動平均線が交わったらゴールドクロス	86
10	銘柄の人気度を表す出来高に注目する	88
	Column 3 テクニカル分析とオシレーター分析の合わせ技	90

## CHAPTER 4. 業績と株価指標

ファンダメンタルズ分析で  
つかむ買いのタイミング

01	買いの材料が出たら買いのタイミング	92
----	-------------------	----

02	これだけは知っておきたい決算資料の基礎知識	94
03	ただ安いだけではないお買い得な銘柄の特徴	98
04	割高でも狙い目な成長株 旬のテーマに沿うテーマ株	100
05	IRが発表された日の17時以降に買う	102
06	株主優待や配当の権利落ち日を狙う	104
07	7~9月がお得に買いやすい	106
08	自社株買いをした企業は買い	108
09	買いどきがわかる四季報の読み方①	110
10	買いどきがわかる四季報の読み方②	112
11	伸びしろのある銘柄を見つけるポイント	114
12	会社予想と実績に毎回ズレがない会社を探す	116
13	株価が横ばいの会社に注目する	118
14	M&Aの対象になりそうな企業は買い	120
15	MBOしそうな会社は買い	122
16	PERとPBRで割安株を探す	124
17	PEGレシオで成長が見込めたら買い	126
18	好景気のときは純資産と利益を使って割安株を探す	128
19	ROEとROAで株価の魅力度を判断する	130
20	5%以上の配当利回りが出ていたら買い	132
21	買いどきがわかる経済指標 米国の雇用統計	134
22	買いどきがわかる経済指標 日本の景気指標	136

Column 4 発売の1日前に四季報をチェックする ..... 138

## CHAPTER 5. 実践問題

# 買いのタイミングを 身に付けるための実践問題

Q1	買いのタイミングを身に付ける	140
Q1	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	141
Q2	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	141
Q3	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	143
Q4	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	143
Q5	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	145
Q6	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	145
Q7	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？	147
Q8	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	147
Q9	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	149
Q10	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？	149
Q11	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	151
Q12	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	151
Q13	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	153
Q14	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	153

Q15	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	155
Q16	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	155
Q17	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	157
Q18	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？	157
Q19	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？	159
Q20	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？	159
Q21	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	161
Q22	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	161
Q23	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	163
Q24	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	163
Q25	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	165
Q26	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	165
Q27	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	167
Q28	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	167
Q29	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	169
Q30	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	169
Q31	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	171
Q32	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	171
Q33	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？	173
Q34	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	173
Q35	このチャートは買うべき？ 保留すべき？	175

Q36	このチャートは買うべき？ 保留するべき？ .....	175
Q37	このチャート内にある割安で買えるタイミングはどっち？ .....	177
Q38	このチャート内にある割安で買えるタイミングはどっち？ .....	177
Q39	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？ .....	179
Q40	このチャートは買うべき？ 保留するべき？ .....	179
Q41	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？ .....	181
Q42	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？ .....	181
Q43	この決算は買うべき？ 保留するべき？ .....	183
Q44	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？ .....	183
Q45	このチャートは今後株価が上昇する？ 下降する？ .....	185
Q46	このチャート内にある買いのタイミングはどこ？ .....	187
Column 5	買いシグナルが出たら指値注文？ 成行注文？ .....	189
索引	.....	190

# なかなか購入できない理由は「欲張るから」

POINT ▶ 「株価の底値と天井を狙う」という発想をなくす

## ■ 初心者ほど買いを躊躇する

投資初心者ほど株式購入ができずに躊躇します。これは誰しもが経験することといってもよいかもしれません。「もっと下がってから買おう」という気持ちはわかります。しかし、その後株価が下がっても、その人は本当に買うことができるのでしょうか。「いや、まだ下がるかもしれない。だから買うのをやめよう」そうした心理へと駆られるのではないのでしょうか。

上がるも下がるも確率は2分の1。「短期的に見れば下がったから買うのをやめると」いう気持ちもわからないではないものの、**短期的な視点だけだと、中長期的なチャンスの到来を見逃してしまいます**。こうして買わないまま、ただ株価を見る毎日を送ることになります。その後株価が急上昇しても、その人は買うことができないでしょう。

結局のところ、**なかなか購入できないのは「欲張るから」なのです**。株式相場の格言の1つに、「頭と尻尾はくれてやれ」というものがあります。頭と尻尾とは、株価の天井と底値を意味します。欲張ると、いちばん安値で買い、いちばん高値で売りたいと思います。果たして、そんなことをできる人はいるのでしょうか？ 皆無といってよいでしょう。

この格言は、「いったん底値を付けて株価が戻ってきたところで買うのが無難であり、天井がどこかわからないが、株価が十分上がり、売りどきだと思ったら売る。その後さらに値上がりしても、その部分の利益はくれてやろう」という意味です。

## 欲張り過ぎない投資の考え方

### 底値と天井を狙うのは難易度が高い

底値を狙うと

「これからもっと株価が下がるかも」と考えて買う決心が付きづらい

天井を狙うと

「これからもっと株価が上がるかも」と考えて売る決心が付きづらい

〈ソフトバンクグループ(9984) 週足 2019年4月～2021年12月〉



投資格言「頭と尻尾はくれてやれ」を実践する



「ある程度の利益を得たら十分」と考えることで、買いを実行しやすくなります

# チャートの基本

## ローソク足で相場を読む

POINT > チャートの読み方を知って今後の値動きを予測する

### ■ 株価の動きが一目でわかる

チャート上で株価を表すのによく使われるのが「ローソク足」です。これは、株価の動向が一目でわかるように、始値、高値、安値、終値を1本の線で示したものです。形がローソクのように見えるため、ローソク足と呼ばれています。

株価を線ではなくローソク足で表すことで、**目先の相場展開を予想したり、相場の強弱や方向性をより詳しく、視覚的に読み取れたり**できます。

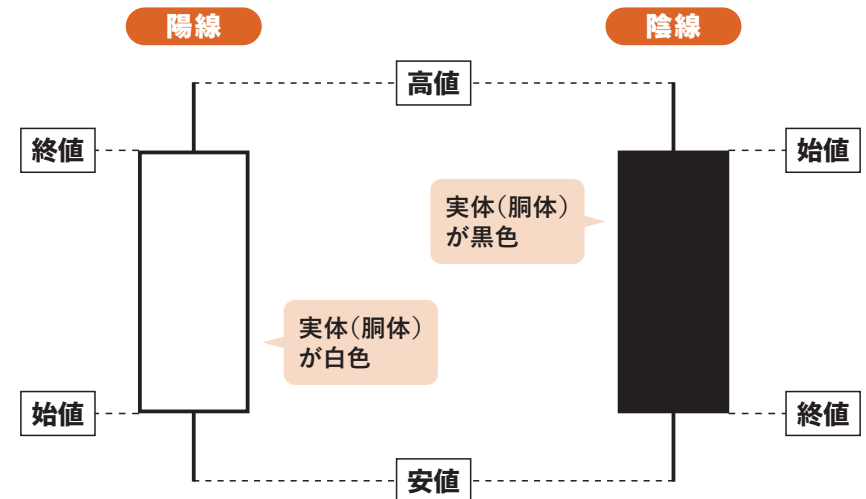
たとえば、始値よりも終値が高い場合、ローソク足は白色で表現されます。この白いローソク足を陽線といいます。始値よりも高い株価で取引が終わっているため、陽線が多いチャートは株価の上昇が継続しているといえます。

一方、始値よりも終値が安い場合、ローソク足は黒色で表現され、この黒いローソク足は陰線と呼ばれます。

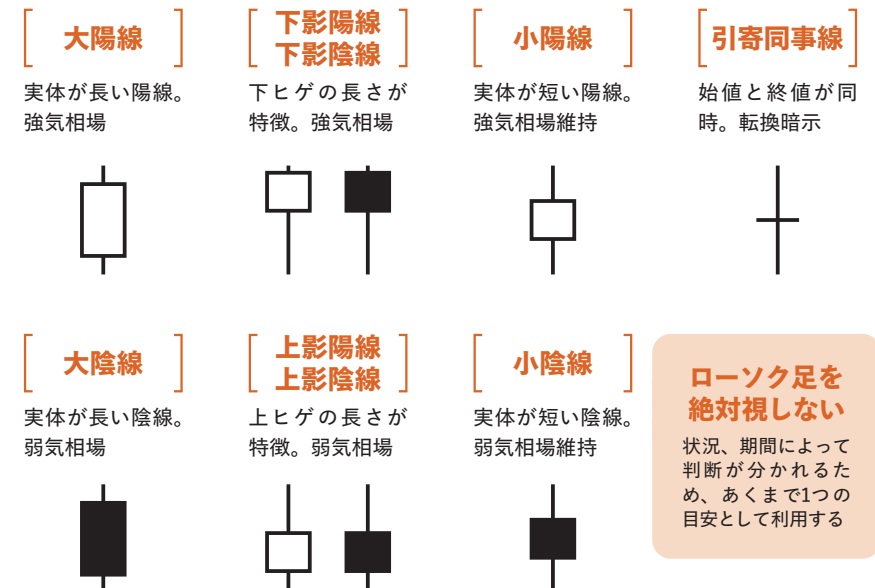
始値や終値と安値、高値との差の部分は一本の線で表現されます。これを「ヒゲ」「影」と呼びます。ヒゲが長ければ価格変動が激しいとわかりますし、ヒゲが短ければ値動きは安定的であるとわかります。**こうしたローソク足の形から相場を読み解く手法は、右図のように細分化されています。**

ちなみに、時間軸を変えることでローソク足が表す期間を変更できます。1日の株価の動向をとらえたものは「日足(ひあし)」、1週間単位は「週足(しゅうあし)」、1カ月単位は「月足(つきあし)」と呼ばれます。

### ローソク足から相場を読み解く手法



### ローソク足の種類と相場観



始値(はじまりね)

ある期間において最初に付いた株価のこと。たとえば1日で見つた場合、朝9時に取引が開始され、最初に付いた株価が始値となる。寄りとも呼ばれる

終値(おわりね)

ある期間において最後に付いた株価のこと。たとえば1日で見つた場合、最後に付いた値段が終値となる。引値(ひけね)とも呼ばれる

# トレンド分析でわかる 買いのポイント③

POINT > トレンドの転換シグナルを見つける

## 「高値と安値が切り下げたとき」に注目

4つ目の原則は「価格は相互に確認されなければならない」です。たとえば、前日のNYダウ平均が上昇すると、翌日の日経平均株価も上昇する傾向があります。米国経済が好調であれば世界中に波及することから、日本株も上昇しやすくなるといえます。このように、**関連し合う市場の動向はトレンドをとらえる際に役に立ちます。**

5つ目の原則は「トレンドは出来高でも確認されなければならない」です。**本格的な上昇トレンドが発生する場合は出来高が多くなります。**売買が活発になるほどトレンドも発生しやすいためです。反対に、出来高の増加を伴って上昇トレンドが続いたあとに出来高が減少していく場合、トレンドの終了を示していることがあります。

6つ目の原則は「トレンドは明確な転換シグナルが現れるまで続く」です。上昇トレンドでは、高値と安値を切り上げながら上昇していきます。つまり、**上昇トレンドの転換は「高値の切り上げに失敗し、直近の安値を切り下げたとき」に発生します。**

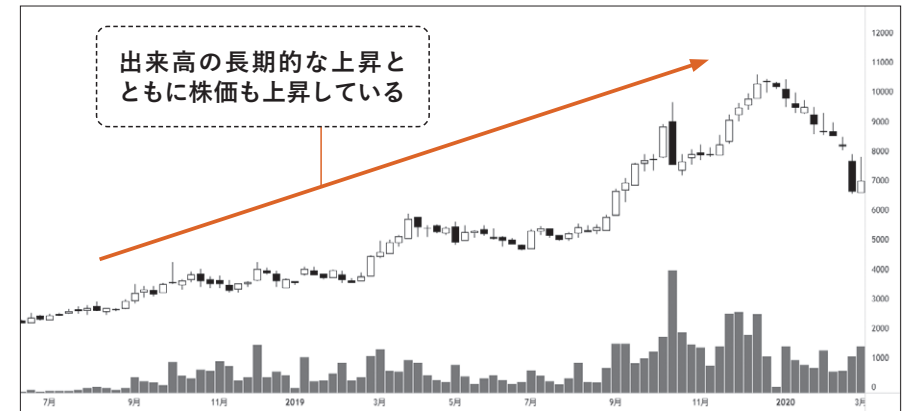
高値の切り上げに失敗した段階で、「上昇トレンドは終了する」と投資家に判断されます。そして、高値も安値もともに切り下げると下降トレンドが形成され、トレンドが転換したと判断できます。

トレンドの転換がわかれば、順張りや逆張りをタイミングよく行うことができ、利益を得やすくなります。

## トレンドの強さと転換のタイミングを把握する

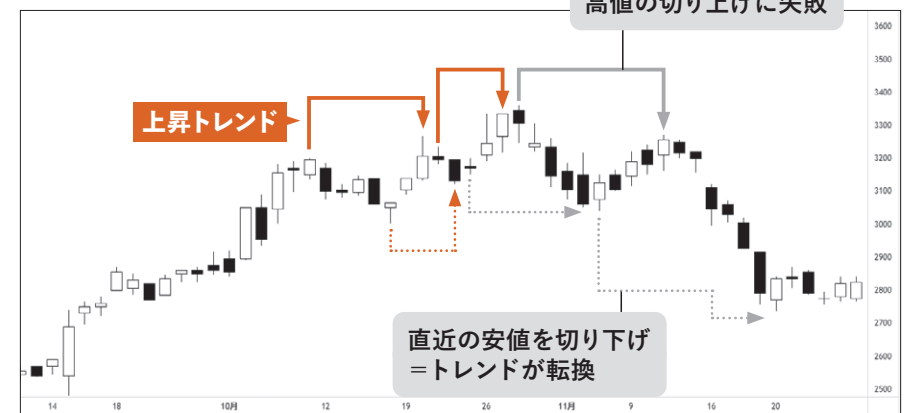
### 原則5 トレンドは出来高でも確認されなければならない

〈ワークマン(7564) 週足 2018年6月～2020年3月〉



### 原則6 トレンドは明確な転換シグナルが現れるまで継続する

〈くら寿司(2695) 日足 2020年9月～2020年11月〉



出来高

売買が成立した株数のこと。銘柄ごとに確認するほか、市場全体での出来高により売買が活況かどうかを確認する場合にも利用される

転換シグナル

高値更新、安値更新がある限り、その方向へのトレンドは継続しているといえる。それがはばまれたとき（シグナル）にトレンドが転換したと判断される



# 買いどきがわかる経済指標

## 日本の景気指標

POINT > GDP、業況判断DI、先行指数が予想よりよければ買い

### 日本経済の成長性を確認する

国内の経済指標からも株の買いどきを探りましょう。日本の経済指標の中でとくに注目したいのは「国内総生産（GDP）」、「日銀短観」、「景気動向指数（CI）」です。

内閣府では、年に4回、国内総生産（GDP）を発表します。GDPは、国内で新しく生み出された財・サービスの付加価値の合計であり、国の経済の規模を示す指標として利用されています。**日本経済の成長を測るもっとも基本的で有名な指標です。**事前予想よりも高い数値であれば、株式市況にプラスの要因となる可能性があります。

日銀短観は、日本銀行が年に4回、およそ1万社の企業に対して行った景気状況の調査結果です。**とくに「業況判断DI」に注目しましょう。**これは、企業の景況感がよいと回答した数から景況感が悪いと回答した数を差し引いた数字です。業況判断DIの値が大きく拡大していれば、業況は上向いており、株価も上昇へと反映される可能性があります。

最後の景気動向指数は、景気の状態を探る指標であり、「先行指数」「一致指数」「遅行指数」からなります。**とくに注目したいのは先行指数です。**先行指数が上向いていると、今後景気が上向く可能性が高く、株価も堅調となる可能性があります。

**注目する点は、どの指標においても予想や想定よりもよいかどうかです。**よければ買いと判断できます。

#### 先行指数

数か月先を確認できる指数。先行指数には、新規求人数(除く学卒)、新設住宅着工床面積、実質機械受注(船舶・電力を除く民需)などがある

### 日本の経済指標でわかる買いのタイミング

#### 注目すべき日本の経済指標

指標名	発表日時	重要度
国内総生産(GDP)	四半期ごと	★★★★
日銀短観(業況判断DI)	四半期ごと	★★★★
景気動向指数(先行指数CI)	毎月上旬	★★★
消費者物価指数	26日を含む週の金曜日	★★
完全失業率	毎月下旬	★★★
有効求人倍率	毎月下旬	★★
商業動態統計速報	毎月下旬	★★

投資のヒントが  
こんなにたくさん  
あるんだ!



#### 注目すべき日本の各業界の経済指標

指標名	発表日時	該当する業界	重要度
鉱工業生産指数	毎月下旬	鉱業・製造業界	★★★★
製造工業生産予測	毎月下旬	製造業界	★★★
機械受注	毎月中旬	機械業界	★★★
住宅着工件数/ 建築許可件数	毎月下旬	住宅業界	★★

事前の予測と結果を比較して、結果の  
ほうがよい数値を示している

Buy 買いサイン



最初はGDP、日銀短観、景気動向指数を中心に使い、  
慣れてきたらほかの指標も活用してみましょう

#### 日銀短観

日本銀行が景気の現状と先行きについて年4回(3、6、9、12月)、企業にアンケート調査を行い、その集計結果や分析結果を公表するもの

# 買いのタイミングを身に付ける

POINT > 実際のチャートで買いを判断して実践に役立てる

## 46問の実践問題で買いの判断力をアップ

これまで、トレンド分析、テクニカル分析、ファンダメンタルズ分析の3つから買いのタイミングを解説してきました。

しかし、**これらは実際の売買で使えるようにならないと意味がありません。**頭の中に知識を入れたとしても、実際の売買では慌ててしまい、つい冷静な判断力を失ってしまうものです。

そこで、実際の売買で役立つように、これまで解説してきた内容を踏まえた実践問題を46問用意しました。実際のチャートを使っているため、よりリアルな感覚で問題に臨めるでしょう。

また、本書の実践問題だけでなく、自分自身でチャートを観察し、「この銘柄は今後どんな動きをするんだろう」と予測することも重要です。どちらも行えば、買いのタイミングをより身に付けることができるでしょう。

## 問題は2パターン

本書で用意した問題には2パターンあります。

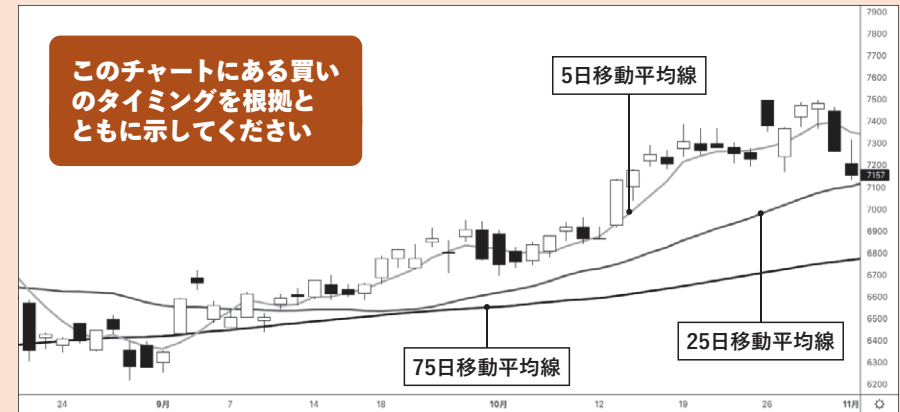
ローソク足が途切れたチャートを見て、この途切れた時点で買いか、または保留かを判断する問題です。もう1つは、チャート内にすでに現れている買いのタイミングがどこかを探る問題です。

**問題は右ページに1問ないし2問、解答は1枚めくった左ページに載せています。**なるべくページをめくる前に、ここまですで得た知識を使って買いのタイミングを考えてみましょう。

Q1

## このチャート内にある買いのタイミングはどこ？

<村田製作所(6981) 日足 2020年8月～2020年11月>



Q2

## このチャート内にある買いのタイミングはどこ？

<住友商事(8053) 日足 2020年11月～2021年2月>

